

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	ネットワークシステム特論		
英文授業科目名	Topics in Network System Engineering		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	市川 晴久		
居室	西3 - 306		

公開E-Mail	授業関連Webページ
h.ichikw@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
ネットワークは、ユビキタスコンピューティング、アンビエントインテリジェンスに向かおうとしている。この流れの視点から、インターネットを検証し、インターネットについての理解度を深めると同時に、NGNに代表される次世代インターネット、ポストインターネットの背景をなす課題、技術トレンドへの理解を深め、研究開発の洞察力を高める。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
<p>各種の教科書、資料を引用しながら進めるが、特に下記を多用する。</p> <p>NTTコミュニケーションズ インターネット検定 .COM MASTER ** 2007, ISBN978-4-7571-0209-5 C3055</p> <p>Andrew S. Tanenbaum, "Computer Networks", Fourth Edition, Pearson Education International, ISBN 0-13-038488-7</p> <p>このほか、適宜指定する。</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

下記の流れで技術とともに事業化の観点も随時とりあげて討議し、技術の理解と創造に対するモチベーションが高まるように進める。プリント中心に行う。

1. 新コンピューティングパラダイムへの胎動
2. インターネットについて
 - ・ ネットワーキングのニーズ
 - ・ ネットワークの構成
 - ・ 思想と設計原則
 - ・ アドレス、ドメイン、参照モデル
 - ・ 接続の技術
 - ・ アプリケーションサービスの技術
 - ・ セキュリティ
 - ・ 運用技術
3. 新世代ネットワークについて

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席状況、演習、授業への貢献、試験の成績をもとに評価する

【オフィスアワー：授業相談】

水曜日午前。メールで事前にアポイントをとること。

【学生へのメッセージ】

これからの通信ネットワーク分野で活躍できるように、自学する力、メタな技術力が得られるように授業を進めたい。インターネットについては常識になっている部分も多いが、次世代技術の観点から課題を取り上げていくので積極的な授業参加を期待する。

【その他】